令和８年度　福岡市立学校給食センター運営委員会
議 事 録

１　日時

令和８年８月20日（木）　14：00～15：00

２　場所

福岡市立第１給食センター（博多区東平尾一丁目９番16号）

３　議事

議題１　学校給食事業の概要について（実施体制、事業概要等）

議題２　学校給食センターにおける献立作成、食育指導について（実施概要等）

議題３　高等学園における給食提供について

報告１　学校給食に係る取組みについて

４　出席者

委員：８人

（
○福岡市立の中学校及び特別支援学校の校長及び教職員
　三田会長、中畑委員、竹原委員
○福岡市立の中学校及び特別支援学校の父母教師会の代表者
　宮本副会長、安部委員
○学識経験者
　笠原委員、森口委員
○教育委員会事務局職員
　野原委員
）

事務局：５人

５　傍聴者

０人

６　議事録（要旨）

(1) 議題１　学校給食事業の概要について（実施体制、事業概要等）

資料に基づいて事務局から説明があり、各委員からの質問等はなし。

(2) 議題２　学校給食センターにおける献立作成、食育指導について（実施概要等）

資料に基づいて事務局から説明があり、各委員からの質問等はなし。

(3) 議題３　高等学園における給食提供について

資料に基づいて事務局から説明があり、委員から次の質問があった。

（委　員）　高等学園３校への給食提供に伴う栄養教諭を配置予定はあるか。

（事務局）　国の定数による配置はないため、他校に配置されてた栄養教諭が、担当校とし

て訪問し、食育指導を行う予定である。

（委　員）　高等学園３校の調理・配送を担当する給食センターはどこか。

（事務局）　博多高等学園及び清水高等学園は第１給食センター、城浜高等学園は第２給食センターが担当する予定である。

(4) 報告１　学校給食に係る取組みについて

資料に基づいて事務局から説明があり、各委員からの質問等はなし。

(5) その他意見

（委　員）　刻み食の提供により、現在は普通食を食べられるようになった子どもがいる。

（委　員）　牛乳の代わりにお茶を提供する取組の試行期間はどのくらいか。

（事務局）　今年度１年間試行し、年度内のアンケートや学校現場の意見、食育の観点、栄養摂取状況、アレルギー対応等を踏まえて総合的に検証し、来年度以降の実施について判断する。

（委　員）　中学校への栄養教諭の配置を今後さらに進める予定はあるか。

（事務局）　本市では、国の定数に基づき配置しており、給食センターには食育の加配により各１名を増員している。国に定数改善を要望している。

（委　員）　保護者が給食に関心を持つきっかけとして、学校給食公社のＳＮＳやホームページの掲載場所を、保護者へ周知してはどうか。

（事務局）　掲載場所の周知は十分ではないため、情報にたどり着くためのＰＲ方法を検討する。

（委　員）　市ＬＩＮＥによる献立配信が中学校・特別支援学校にない理由は何か。

（事務局）　配信用データへの変換作業等に課題があり、現時点では難しい。献立は市及び学校給食公社のホームページに掲載しているため、そちらで確認いただきたい。

（委　員）　第１給食センターの次期事業手法の検討は、自校式への変更も含むのか。

（事務局）　現在の施設を使用する前提で、最も効率的かつ安定的に給食を提供できる方法を検討する。

（委　員）　食物アレルギーを有する生徒の増加傾向と、今後も対応食の提供を継続できるか。

（事務局）　中学校では令和５年度の約 2.75％（約 1,000 人）から令和７年度が約 3.49％（約 1,300 人）に増加している。施設の拡張は難しいため、今後も増加が続く場合には、食材や対応食の内容等を工夫する必要が生じるが、現時点では栄養教諭と運営事業者が連携し、滞りなく対応食を提供できる体制を確保している。

（委　員）　福岡市の食物アレルギーのある子どもへの対応は、きめ細かく手厚い取組であると感じている。